

《QE予測シリーズ No.2016-5》

2016年7～9月期GDP統計予測

(1) 2016年7～9月期の実質GDPは、前期比年率+1.2%（前期比+0.3%）と、3四半期連続のプラス成長となった見込み（図表1）。外需のプラス寄与を主因に、成長ペースは前期から加速したものの、個人消費を中心とした内需は弱い動き。

①個人消費（前期比年率▲0.4%、前期比▲0.1%）

3四半期ぶりに減少。雇用所得環境の改善が続いたものの、台風など天候不順の影響で外出が手控えられたことが、消費下押しに作用。

②設備投資（前期比年率+0.5%、前期比+0.1%）

円高による企業収益の下振れが、企業の投資活動の重石となったものの、訪日観光客向けの宿泊施設など建設投資の増加を背景に、3四半期ぶりの増加。

③住宅投資（前期比年率+9.9%、前期比+2.4%）

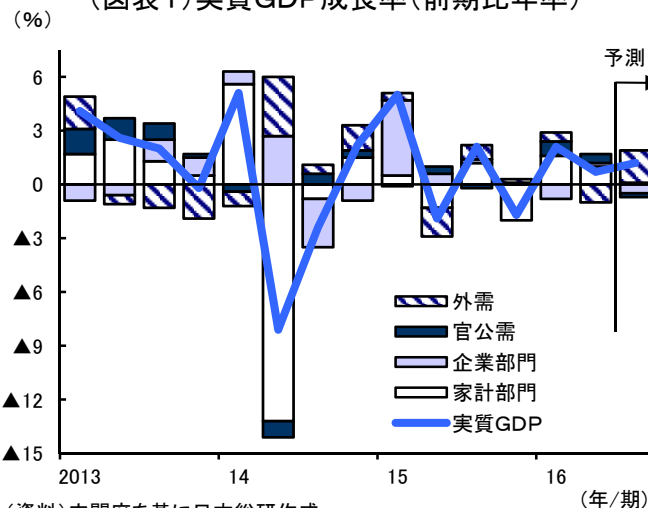
2四半期連続の増加。相続税対策を追い風にした貸家の建設増が、住宅投資の押し上げに作用。もっとも、マンション価格の高騰を背景とした販売減を受け、分譲マンションの建設が減少したことで、増加ペースは前期から鈍化。

④外需（前期比年率寄与度+1.8%ポイント、前期比寄与度+0.4%ポイント）

輸出は、景気が減速する中国向けの伸び悩みが続いたものの、NIEsやASEAN向けの持ち直しを背景に、2四半期ぶりの増加。一方、輸入は、国内需要の伸び悩みを受け、減少傾向が持続。この結果、外需のGDP寄与は大幅なプラスに。

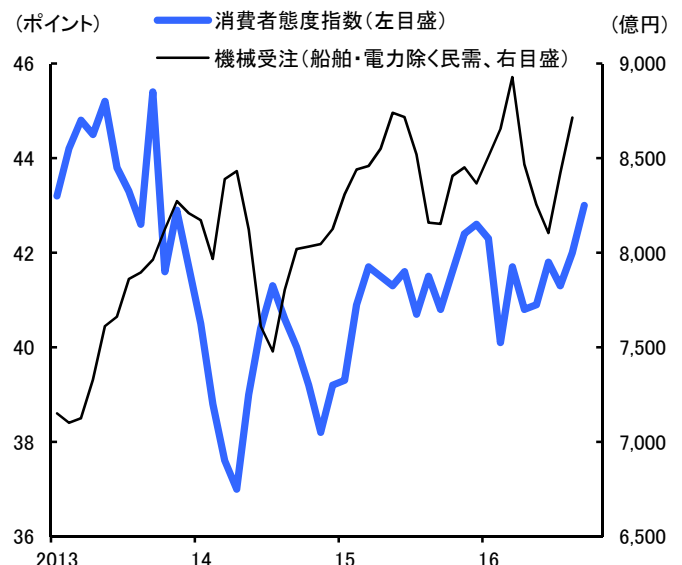
(2) 10～12月期を展望すると、①雇用所得環境の改善傾向が続くなか、消費者マインドにも足許で持ち直しの動きがみられること、②円高や海外経済に対する過度な先行き不安の後退を背景に、企業の投資意欲が徐々に改善していることなどから、内需の持ち直しを背景に、プラス成長が続く見込み（図表2）。もっとも、一部業種で残存している在庫調整圧力が生産活動の重石となることなどから、緩やかな成長ペースにとどまる公算。

（図表1）実質GDP成長率（前期比年率）



(資料)内閣府を基に日本総研作成
(注1)家計部門＝民間最終消費支出＋民間住宅。
(注2)企業部門＝民間企業設備＋民間在庫品増加。
(注3)官公需＝政府最終消費支出＋公的固定資本形成＋公的在庫品増加。
(注4)外需＝輸出－輸入。

（図表2）消費者マインドと機械受注（季調値）



(資料)内閣府を基に日本総研作成
(注)機械受注は、後方3ヵ月移動平均。

【ご照会先】 調査部 副主任研究員 村瀬拓人 (murase.takuto@jri.co.jp , 03-6833-6096)

《QE予測シリーズ》は、直近四半期の日本経済、および法人企業統計の概況を解説するとともに、四半期別GDP速報の予測値と当面の景気見通しを示すものです。1次速報値と2次速報値について、年合計8回発表します。

GDP統計予測表(2016年10月31日時点の公表系列をもとに作成)

(株)日本総合研究所 調査部

■ 前期比 (%, 十億円)

	実質GDP													名目GDP	デフレーター	
	内需								外需							
	民需				官公需				輸出	輸入	政府消費	公共投資	公的在庫			
個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫									
2015/ 4 ~ 6	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.6	1.7	▲ 1.0	1321.9	0.4	0.4	0.9	▲ 36.2	▲ 2539.8	▲ 4.2	▲ 1.8	▲ 0.1	0.4
7 ~ 9	0.5	0.3	0.5	0.4	1.1	0.8	▲ 195.6	▲ 0.2	0.2	▲ 1.8	14.3	1338.9	2.6	1.2	0.6	0.1
10 ~ 12	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 0.5	1.2	▲ 776.4	0.1	0.8	▲ 3.2	▲ 3.4	5.5	▲ 0.9	▲ 1.1	▲ 0.3	0.2
2016/ 1 ~ 3	0.5	0.4	0.3	0.7	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 508.4	0.8	0.9	0.2	45.6	527.7	0.1	▲ 0.5	0.8	0.3
4 ~ 6	0.2	0.4	0.4	0.2	5.0	▲ 0.1	331.1	0.5	0.1	2.6	▲ 14.2	▲ 1344.0	▲ 1.5	▲ 0.0	0.3	0.2
7 ~ 9	0.3	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	2.4	0.1	▲ 702.9	▲ 0.2	0.3	▲ 2.3	1.3	2305.4	2.0	▲ 0.7	▲ 0.1	▲ 0.4

■ 前期比年率 (%, 十億円)

2015/ 4 ~ 6	▲ 1.9	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 2.6	7.0	▲ 3.8	—	1.7	1.5	3.7	—	—	▲ 15.8	▲ 6.9	▲ 0.2	1.8
7 ~ 9	2.1	1.3	1.9	1.8	4.3	3.0	—	▲ 0.6	0.7	▲ 7.1	—	—	10.6	5.0	2.5	0.4
10 ~ 12	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 2.4	▲ 3.2	▲ 1.8	5.0	—	0.5	3.3	▲ 12.2	—	—	▲ 3.7	▲ 4.2	▲ 1.1	0.6
2016/ 1 ~ 3	2.1	1.7	1.2	2.8	▲ 0.5	▲ 2.6	—	3.3	3.6	1.0	—	—	0.4	▲ 2.1	3.3	1.1
4 ~ 6	0.7	1.6	1.4	0.7	21.6	▲ 0.6	—	2.0	0.4	10.8	—	—	▲ 5.8	▲ 0.2	1.3	0.6
7 ~ 9	1.2	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.4	9.9	0.5	—	▲ 0.7	1.0	▲ 9.1	—	—	8.1	▲ 2.6	▲ 0.3	▲ 1.5

■ 前年同期比 (%, 十億円)

2015/ 4 ~ 6	0.7	0.5	0.3	0.1	▲ 3.2	1.3	122.4	1.3	1.3	2.1	▲ 12.1	256.0	1.9	0.8	2.2	1.4
7 ~ 9	1.8	1.5	1.7	0.4	5.9	2.6	722.9	0.7	1.2	▲ 0.7	▲ 37.9	397.4	3.1	1.5	3.6	1.8
10 ~ 12	0.7	0.7	0.8	▲ 1.0	4.8	4.1	760.3	0.2	1.6	▲ 5.2	▲ 8.7	▲ 115.4	▲ 0.9	▲ 0.5	2.2	1.5
2016/ 1 ~ 3	0.2	0.1	▲ 0.1	▲ 0.2	2.0	0.6	▲ 100.2	0.9	2.2	▲ 4.7	9.5	▲ 167.0	▲ 2.5	▲ 2.0	1.1	0.9
4 ~ 6	0.8	0.7	0.5	0.4	5.6	1.0	▲ 218.6	1.5	2.0	▲ 2.2	9.6	93.1	▲ 0.1	▲ 0.6	1.5	0.7
7 ~ 9	0.7	0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	7.0	0.5	▲ 408.4	1.3	2.1	▲ 2.5	6.9	404.3	▲ 0.4	▲ 2.4	0.8	0.1

■ 前期比・寄与度 (%, %ポイント)

2015/ 4 ~ 6	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.4	0.0	▲ 0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	▲ 0.0	▲ 0.4	▲ 0.8	0.4	—	—
7 ~ 9	0.5	0.3	0.4	0.3	0.0	0.1	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.1	0.0	0.2	0.5	▲ 0.3	—	—
10 ~ 12	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.0	0.2	▲ 0.2	0.0	0.2	▲ 0.2	▲ 0.0	0.1	▲ 0.2	0.2	—	—
2016/ 1 ~ 3	0.5	0.4	0.2	0.4	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	—	—
4 ~ 6	0.2	0.4	0.3	0.1	0.1	▲ 0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	▲ 0.0	▲ 0.3	▲ 0.3	0.0	—	—
7 ~ 9	0.3	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1	0.0	▲ 0.1	▲ 0.0	0.1	▲ 0.1	0.0	0.4	0.3	0.1	—	—

■ 前期比年率・寄与度 (%, %ポイント)

2015/ 4 ~ 6	▲ 1.9	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 1.5	0.2	▲ 0.5	1.1	0.4	0.3	0.2	▲ 0.0	▲ 1.6	▲ 3.1	1.5	—	—
7 ~ 9	2.1	1.3	1.4	1.1	0.1	0.4	▲ 0.2	▲ 0.2	0.2	▲ 0.3	0.0	0.8	1.8	▲ 1.0	—	—
10 ~ 12	▲ 1.7	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 1.9	▲ 0.1	0.7	▲ 0.7	0.1	0.7	▲ 0.6	▲ 0.0	0.2	▲ 0.7	0.9	—	—
2016/ 1 ~ 3	2.1	1.6	0.8	1.6	▲ 0.0	▲ 0.4	▲ 0.4	0.8	0.7	0.0	0.0	0.5	0.1	0.4	—	—
4 ~ 6	0.7	1.7	1.2	0.4	0.6	▲ 0.1	0.3	0.5	0.1	0.5	▲ 0.0	▲ 1.0	▲ 1.1	0.0	—	—
7 ~ 9	1.2	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.2	0.3	0.1	▲ 0.6	▲ 0.2	0.2	▲ 0.4	0.0	1.8	1.4	0.4	—	—

■ 前年同期比・寄与度 (%, %ポイント)

2015/ 4 ~ 6	0.7	0.5	0.2	0.0	▲ 0.1	0.2	0.1	0.3	0.3	0.1	▲ 0.0	0.2	0.3	▲ 0.2	—	—
7 ~ 9	1.8	1.6	1.4	0.2	0.2	0.4	0.6	0.2	0.2	▲ 0.0	▲ 0.0	0.2	0.6	▲ 0.3	—	—
10 ~ 12	0.7	0.7	0.7	▲ 0.6	0.1	0.5	0.6	0.0	0.3	▲ 0.3	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.2	0.1	—	—
2016/ 1 ~ 3	0.2	0.2	0.0	▲ 0.1	0.1	0.1	▲ 0.1	0.2	0.5	▲ 0.2	0.0	▲ 0.1	▲ 0.4	0.4	—	—
4 ~ 6	0.8	0.7	0.3	0.2	0.2	0.1	▲ 0.2	0.3	0.4	▲ 0.1	0.0	0.1	▲ 0.0	0.1	—	—
7 ~ 9	0.7	0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	0.2	0.1	▲ 0.3	0.3	0.4	▲ 0.1	0.0	0.3	▲ 0.1	0.5	—	—

(注1) 民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2) 実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。